

平成29年度第1回養老町地域公共交通会議 議事概要

●日時 平成30年2月13日(火) 14:30~15:00

●場所 養老町役場 3階第1会議室

- 出席者〔委員〕
- | | |
|-----------------|--------|
| 中部運輸局岐阜運輸支局 | 住田 嘉治 |
| 岐阜県庁都市建築部公共交通課 | 柴田 裕子 |
| 岐阜国道事務所大垣維持出張所 | 三治 伝 |
| 大垣土木事務所施設管理課 | 高橋 義浩 |
| 養老警察署交通課 | 加藤 康生 |
| 大垣警察署交通第一課長 | 桂川 幸治 |
| 海津警察署交通課長 | 太田 広士 |
| 名阪近鉄バス(株) | 三好 高広 |
| 岐阜近鉄タクシー(株) | 石間 正 |
| 大垣タクシー(株) | 大角 勇雄 |
| 岐阜県バス協会 | 山田 芳喜 |
| 名阪近鉄バス労働組合 | 加藤 浩司 |
| 養老町区長連絡協議会 | 安田 澄雄 |
| 大垣市生活環境部生活安全課 | 馬淵 義昭 |
| 海津市市民環境部市民活動推進課 | 大橋 隆幸 |
| 輪之内町住民課 | 野村 みどり |
| 養老町長 | 大橋 孝 |
| 養老町産業建設部長 | 桐山 一則 |
- 〔新委員〕
- | | |
|-------------|--------|
| 岐阜経済大学教授 | 竹内 治彦 |
| スイトトラベル(株) | 一柳 正義 |
| 養老線管理機構 | 中川 真澄 |
| 養老鉄道(株) | 植松 知也 |
| 養老町老人クラブ連合会 | 陸田 靖則 |
| 養老町老人クラブ連合会 | 澁谷 八代子 |
| 大垣市上石津地域事務所 | 辻 紳一 |
- 〔随行者〕
- | | |
|---------------|-------|
| 大垣市生活環境部生活安全課 | 西川 智樹 |
|---------------|-------|

〔事務局〕	養老町産業建設部建設課	田中 一也
	養老町総務部企画政策課	川地 憲元
	養老町産業建設部建設課	堀田 英利
	養老町産業建設部建設課	香川 明美
	養老町総務部企画政策課	伊藤 良彦

●欠席者 なし

- 議題
- | | |
|--------|---------------------------|
| 協議事項 1 | 養老町地域公共交通会議設置要綱の一部改正等について |
| 協議事項 2 | 会長について |
| その他 | 公共交通網形成計画について |

●議事

協議事項 1 養老町地域公共交通会議設置要綱の一部改正等について

○事務局からの説明（資料 1 に基づき説明）

- 改正内容
- ・町地域公共交通網形成計画策定に対応できるよう、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく内容の追加
 - ・公共交通会議で協議する項目の追加
 - ・書面議決に関する項目の追加
 - ・謝金支給に関する項目の追加
 - ・新委員の追加（5名）

○委員からの質問・回答、意見・提案等

特になし

○養老町地域公共交通会議設置要綱の一部改正等について承認

協議事項 2 会長について

○会長 養老町長より

自身は会長職を辞任し、新たな会長に岐阜経済大学竹内教授を指名。

・公共交通網形成計画は、専門的な知識も必要となる。竹内先生は養老線交通圏地域公共交通網形成計画にも携わっており、関連性も含め町網形成計画をよりよい方向に進めていくための技術的な助言も期待できることから指名。

○委員からの質問・回答、意見・提案等

特になし

○会長について承認

新会長挨拶

その他 公共交通網形成計画について

○事務局から説明（資料 2 に基づき説明）

・町の地域公共交通の概要・現況について

○中部運輸局岐阜支局より説明（参考 1、2 に基づき説明）

・公共交通活性化再生法の概要、会議の進め方について説明された。

○委員からの質問・回答、意見・提案等

・イメージしている他の自治体の例はありますか。事例等拝見すると、養老町よりも少し規模の大きい自治体のイメージかと感じる。養老町が取組んでいくのに、どう考えていったら良いか参考になる事例はありますか。

→平成29年10月末現在、全国で330件の地域公共交通網形成計画が策定されております。そのうち、岐阜県においては11自治体、内ひとは養老鉄道で策定されています。岐阜県の中において養老町と同じような規模のところはない。各地域の公共交通網形成計画はホームページで検索できますので、見て頂くと同じような構成となっているかがわかります。

→ホームページの事例を見ると、中核都市での計画などが出てきてしまうので、この地域にあった形の事例があると参考になります。

○岐阜経済大学竹内教授より説明

・地域公共交通網形成計画の策定は、地方公共団体を中心に、事業者や地域との連携、町づくりや観光等他分野との連携が必要である。養老町は65歳から69歳の団塊世代が多く、高齢者割合が高く、これから運転免許証自主返納が課題となってくる世代が多い。また昼夜間人口比率は85.1%となっており、通勤・通学で外へ出ている人が多い。これらより、通勤・通学の足を確保していくことが必要であると思われる。人口が減れば利用人数も減る。人口が減っていく中で利用者数を維持していくには、利用率を上げることが必要。アクセス等を良くすることで、日常的に利用してもらえるようにすることが肝心である。この会議で難しい事をしていかなければならない、と心配かと思うが、地元の人意見が大事。またオンデマンドバスは他の自治体とも連携し、この地域にあったものを作成していく必要がある。

○委員からの質問・回答、意見・提案等

・この会議の中で老人クラブのおふたりと区長会長さんが一番重要な役割となってくると思います。各地域の特性があると思うので、住民の方が地域でどのような交通の形にしていきたいと思っているのかをしっかりと聞き出していただきたい。こんなバスがあったらいいな、こんなタクシーがあったらいいなといった事をできるだけ幅広く拾い上げをして、それを基に計画を作り上げていけたらと思っています。現在のオンデマンドバスは8時30分から17時までとなっておりますが、公共交通は24時間、少なくとも夜10時まで位は運行していないと塾に行った子供が乗れないのではないかと思いますので、この辺りも踏まえて検討できたらいいなと思っています。

・都市計画等も含め、高速道路のインターチェンジもできたましのので、養老

鉄道や他市町を含めた広域な路線網の計画をしていければと思います。オンデマンドバスは基本的には良い交通手段だと思いますが、高齢者向けとなっているので、交通弱者、高齢者以外に中高生も含めて対応していけるよう考えていかなければいけないと思います。買い物、医療等だけでなく、通勤に使いたい方もいるはずなので、その方の意見も聞きながら養老町の交通体制をどうしていくのか考えていかなくてはいけないと思います。以前は日吉、室原地域にバスがありましたが、町の無料バスが走り、それに伴い名阪近鉄バスが撤退した経緯もあります。誰もが自由に動けるようにするにはどうしたらよいのかを含めて検討していただきたいと思います。

- ・策定にむけてのスケジュールを教えてください。

→年度が変わりましたら業務委託契約をし、7月頃に地域の概況調査、現況調査を予定しています。その後地区説明会、懇談会も検討しています。8月から12月にかけて町民の方、利用者を対象のアンケートの実施を行いたい。年明けにアンケートのとりまとめと、交通事業者の方と意見交換、2月3月で課題の整理と網形成計画の素案作りを行いたい。

- ・協議会の開催については。

→年に3回位を予定しておりますが、開催時期は未定です。

○事務局より

- ・次回会議は年度の改まった4月頃を予定。
日程が決定次第、書面にて案内する。
資料は事前に送付予定です。